

第2回京都腎臓・高血圧談話会
学術講演会 開催記録
テーマ“降圧治療の課題”

2017年11月11日(土)

ハイアットリージェンシー京都

共催：京都腎臓高血圧談話会、武田薬品工業株式会社

第2回京都腎臓・高血圧談話会学術講演会

テーマ：「降圧治療の課題」

日時：2017年11月11日(土) 18:30～21:00

場所：ハイアットリージェンシー京都 ボールルームⅠ

〒605-0941 京都市東山区三十三間堂廻り644番地2 電話:075 541 1234

【情報提供】18:30～ 「イニシンク配合錠について」 武田薬品工業株式会社 三木香澄

【総会】18:40～18:50

【特別講演】18:50～19:50(1:00)

座長：京都工場保健会 所長、京都腎臓・高血圧談話会 会長
武田 和夫先生

「腎臓と高血圧」

演者：東北大学大学院医学系研究科
腎・高血圧・内分泌学分野 教授

伊藤 貞嘉 先生

※日医生涯教育講座 カリキュラムコード 74:高血圧症, 24:浮腫 各0.5 単位

【聴衆参加型ディスカッション】20:00～21:00(1:00)

司会：家原典之先生（京都市立病院 腎臓内科）

八田 告先生（八田内科医院 内科）

症例から学ぶ各職種における問題点

「降圧治療の課題と保健指導」保健師（京都工場保健会 梶岡恵子先生）

「降圧治療の課題と栄養指導」栄養士（京都市立病院 望月貴子先生）

「降圧治療の課題と薬剤指導」薬剤師（草津総合病院 大橋 泰裕先生）

アンサーパッドを使用して聴講者にもご参加頂きます！（先着100名）

※日医生涯教育講座 カリキュラムコード 10:チーム医療, 11:予防と保健 各0.5 単位

【Closing Remarks】神田千秋先生（京都腎臓・高血圧談話会 副会長）

講演会終了後に情報交換会をご用意しております。

当日参加費：当日1000円 なお、当日ご参加の方はすべて会員とさせていただきます。

尚、御手数ですが10月30日までに裏面のFAX返信用紙にて出欠の御返信を

頂けましたら幸いです。

共催：京都腎臓・高血圧談話会、武田薬品工業株式会社

後援：京都府医師会、京都糖尿病医会、京都透析医会、京都府栄養士会



談話会常任世話人会(講演会前に開催)

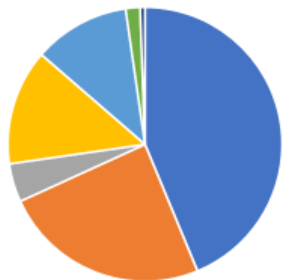
総会資料より

会員数 (2017年11月10日現在)

医師	75
栄養士	45
看護師	8
保健師	26
薬剤師	20
臨床工学技士	3
臨床検査技師	1

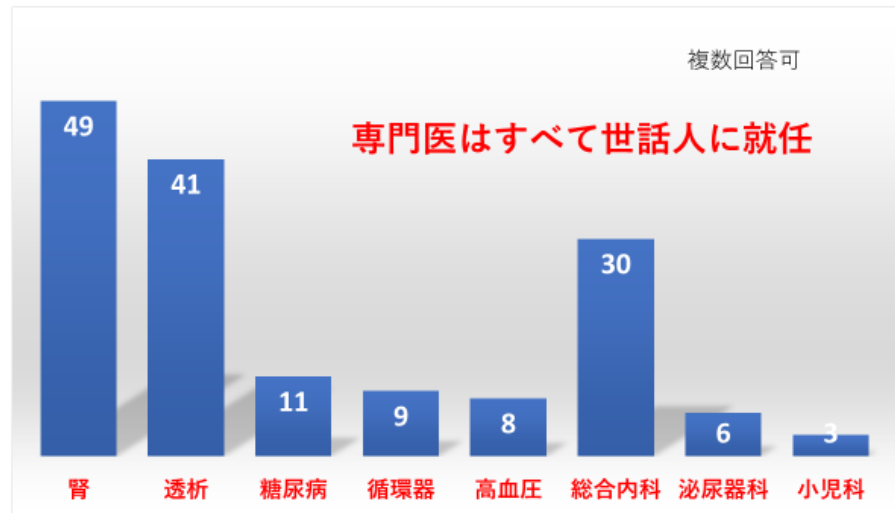
合計

178



- 医師
- 栄養士
- 看護師
- 保健師
- 薬剤師
- 臨床工学技士
- 臨床検査技師

医師 (専門医別)



会計報告

		京都腎臓・高血圧談話会	金銭出納帳		
		適用	収入 (円)	支出 (円)	残高 (円)
平成28年					
10	22	第1回京都腎臓・高血圧談話会学術講演会	58000		58000
		参加費 (¥500×116名)			58000
11	4	Fax番号返信依頼手紙 郵送代 (¥82×5人分)		410	57590
		17世話人リーフレット印刷代		7850	49740
		21ノート代		216	49524
平成29年					49524
2	13	料金別納 切手代 (¥82×23名)		1886	47638
5	16	料金別納 切手代 (¥92×126名)		11,592	36046

新常任世話人名簿

新常任世話人: 柴田晶子氏 (向日市 保健師)

施設名	診療科・役職	代表者 (敬称略)	備考
京都工場保健会	所長	武田和夫	会長
京都市立病院	救急総合内科科長	神田千秋	副会長
京都市立病院	腎臓内科部長	家原典之	副会長
京都府立医科大学附属病院	前病院長、移植・一般外科部長	吉村了勇	顧問
和田内科医院	院長	和田成雄	
京都府立医科大学	小児循環器腎臓科准教授	西田 眞佐志	
綾部市立病院	泌尿器科部長	小山正樹	
八田内科医院	院長	八田 告	事務局
京都桂病院	栄養科科長	川手由香	
京都工場保健会	保健師	梶岡恵子	
西陣病院	薬剤部部長	三宅健文	
向日市役所	健康推進課 保健師	柴田晶子	
にしがも透析クリニック	院長	青木正	監事
京都市立病院	管理栄養士	望月貴子	監事

第3回京都腎臓・高血圧談話会 学術講演会

- ・テーマ：糖尿病性腎臓病 (DKD)
- ・開催日時：2018年11月10、17日 (予定)





【特別講演】 座長
京都工場保健会 所長
京都腎臓・高血圧談話会 会長
武田 和夫 先生

**特別講演：東北大学大学院医学系研究科 腎・高血圧・内分泌学分野
教授 伊藤 貞嘉 先生**

講演テーマ：腎臓と高血圧



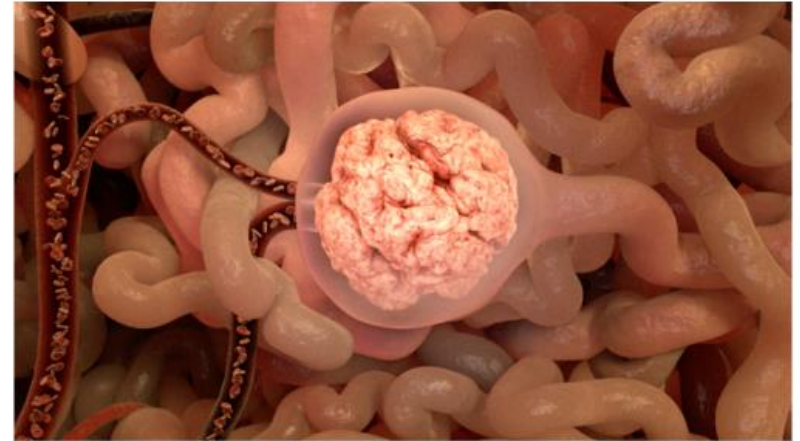
ご質問頂いた先生方



特に印象に残ったスライドをピックアップしました



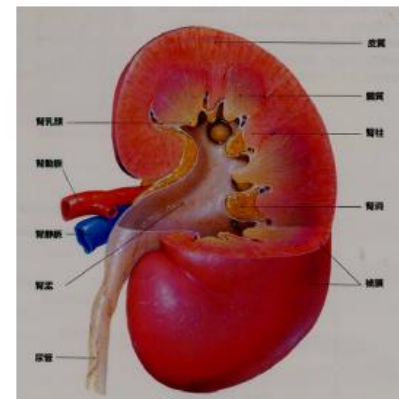
NHKスペシャル「人体」(2017年10月1日)
～“腎臓”があなたの寿命を決める～



生命の進化と時間軸



腎臓は塩分を調節している

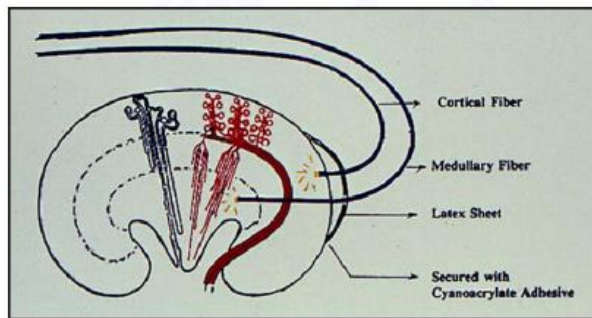


- 出しきれないほど塩分をとると血圧が上がる
- 血圧の力を借りて塩分を尿に出している
- 食塩が少なくても大丈夫

特に印象に残ったスライドをピックアップしました



高食塩摂取により**ベースライン**の腎皮質血流は増加するが、髄質血流には変化がない

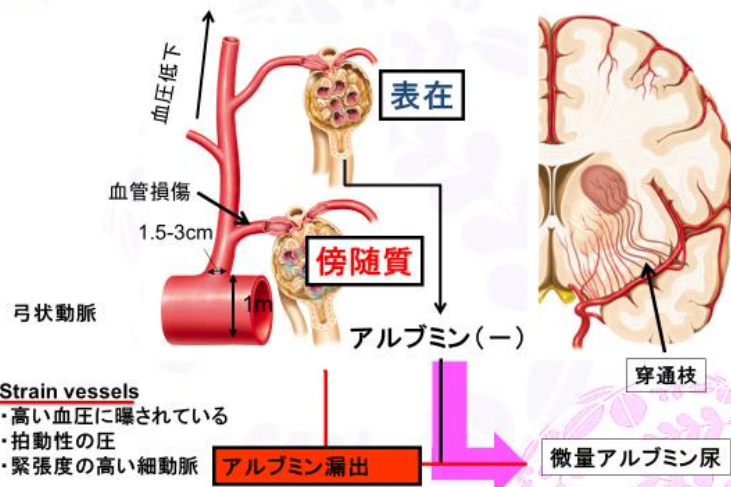


		1mEq/day	7mEq/day	13mEq/day
Cortical	(n=9)	1.2±0.1V	32%↑	50%↑
Outer medullary	(n=5)	1.5±0.3V	No change	No change
Inner medullary	(n=6)	0.8±0.06V	No change	No change

(Gross V, et al: *AJP* 274; R1317-23, 1998)



Strain vessel 説



Strain vessels

- ・高い血圧に曝されている
- ・拍動性の圧
- ・緊張度の高い細動脈

アルブミン漏出

微量アルブミン尿

Ito S: Hypertension. 2015 May;65(5):970-5



高血圧パラドックス

～パラドックス: 理屈に合わないこと～

- ・簡単に診断できる
- ・優れた血圧の薬が開発された
- ・それにもかかわらず:
 - ①半数しか治療されていない
 - ②その半数しか目標血圧に到達していない
- ・結果として人類の死亡と障害(認知症、寝たきり)の最も大きな原因となっている



高血圧パラドックス

～パラドックス: 理屈に合わないこと～

- ・高血圧の重要性(脳・心・腎を傷害する)を十分に納得していない(一般住民)。
- ・何故血圧を下げなければいけないのか実感していない、十分に理解していない。
- ・妥協: 治療しているから。この辺でしようがないだろう(医師も患者も)。
- ・生活習慣: 食塩、体重、身体活動の低下
- ・二次性高血圧(特定の原因がある)の検索不十分: 薬を飲んで利きが悪い。専門医を受診しましょう。

【聴衆参加型ディスカッション】

司会：家原典之先生（京都市立病院 腎臓内科）

八田 告先生（八田内科医院 内科）

症例から学ぶ各職種における問題点

「降圧治療の課題と保健指導」保健師（京都工場保健会 梶岡恵子先生）

「降圧治療の課題と栄養指導」栄養士（京都市立病院 望月貴子先生）

「降圧治療の課題と薬剤指導」薬剤師（草津総合病院 大橋 泰裕先生）



「降圧治療の課題と保健指導」

保健師(京都工場保健会 梶岡恵子先生)



皆さん、真剣に考えてご回答頂きました。



「保健師のもやもや」という実感のあるフレーズでとても親しみやすいプレゼンでした。きっと日頃の保健指導もこのような優しいフレーズが多いのでしょう。

伊藤先生のアドバイスで血圧の説明ができそうですね！

「降圧治療の課題と栄養指導」

栄養士(京都市立病院 望月貴子先生)

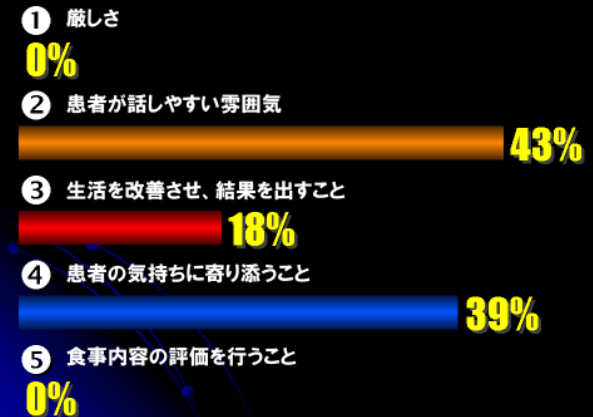


結果の違いが興味深かったですね！

【Question 6】

栄養士のみ回答してください

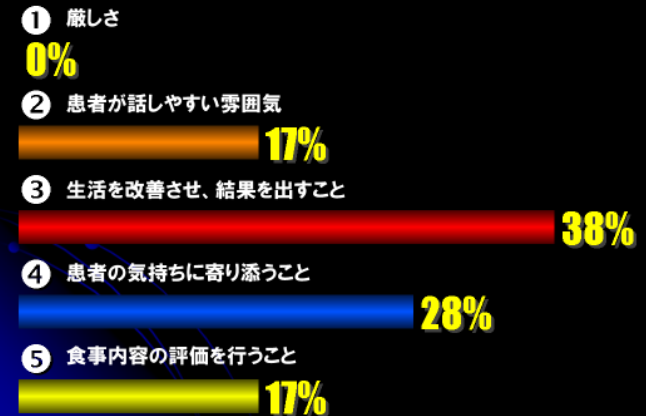
食事療法継続のために栄養士が必要だと思うことは？



【Question 7】

医師のみ回答してください

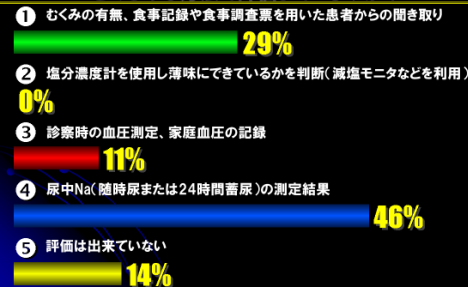
食事療法継続のために医師が栄養士に求めるものは？



【Question 5】

栄養士のみ回答してください

指導後、塩分管理が出来ているか
どのような方法で評価していますか？



栄養士さんの視点を大変分かりやすくご説明頂きました。また多くの栄養士さんが尿中塩分測定して指導されている点、大変感銘を受けました。

「降圧治療の課題と薬剤指導」

薬剤師(草津総合病院 大橋 泰裕先生)



Sick dayとRA系阻害薬、アドヒアランスとコンプライアンスの違い、利尿薬は塩を出す薬で利塩薬であることなど、大変有益な情報でした。CCBとグレープフルーツジュースの話では、超難問にもかかわらず、まさかの72%が正解！参加者のレベルの高さが伺えました。

Sick dayとRA系阻害薬

RA系阻害薬服用は **AKI** のリスク → **CKDの進行** リスク

Sick day ルール

体重減少(2Kg以上)、**血圧低下**(20mmHg以上)の場合は**RA系阻害薬を休薬!**

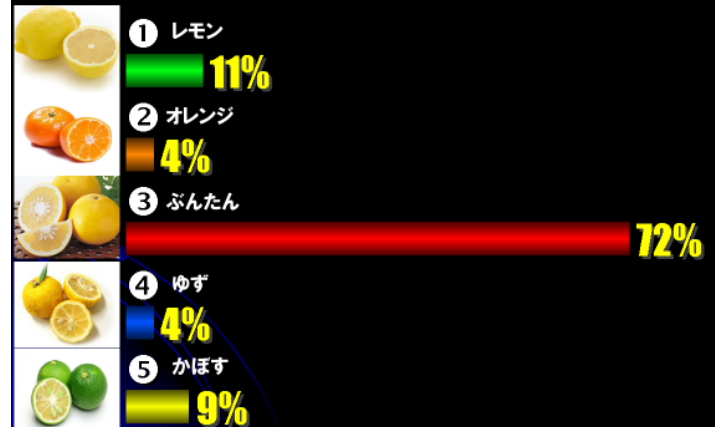
腎臓内科レジデントマニュアル 第7版より



ゴルフが趣味!

【Question 9】

カルシウム拮抗薬と避けるべき他の柑橘類は？



Closing Remarks

神田千秋先生

京都腎臓病総合対策推進協議会会長
京都腎臓・高血圧談話会副会長



多職種が集まる大変貴重な会で、ぜひ皆さんでこの会を盛り上げて行ってくださいと力強いエールを頂きました。

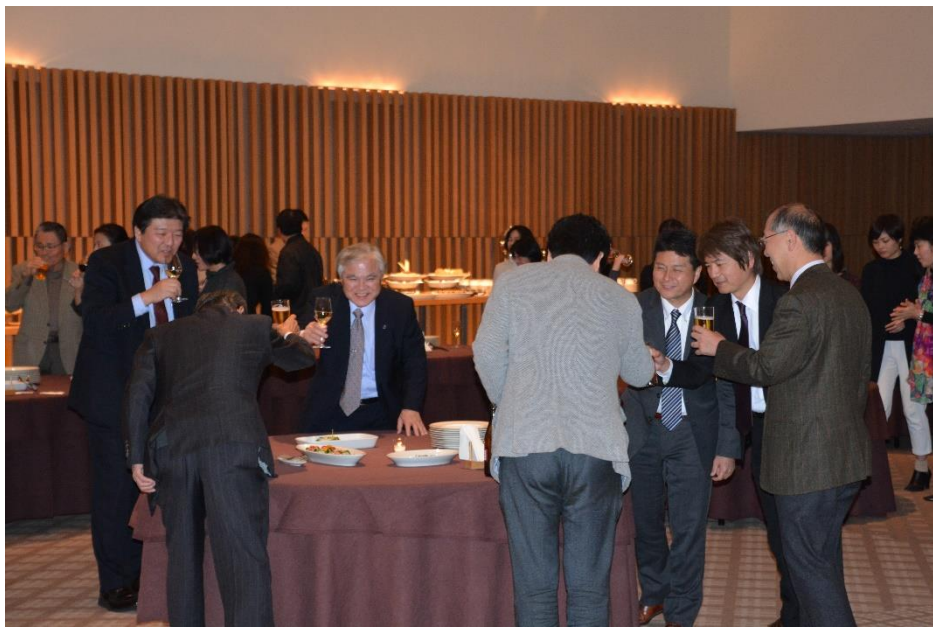
多数の方にご参加頂きました(計102名)



意見交換会



京都糖尿病会長の鍵本伸二先生の乾杯ご発声



乾杯！お疲れ様でした！



伊藤先生を囲んで



多くの方が、伊藤先生と意見交換をされていました



最強の桂病院栄養士軍団(通称:川手組)



八田内科医院スタッフ+滋賀県栄養士さん



笑顔が素敵です！



次回のテーマは、DKDです。
鍵本会長、原山先生、ご指導宜しくお願いします！



武田先生、岩井さん(推進協事務局長)＋川手組



神田先生＋小山先生＋藤井先生グループ



吉村先生(みなくち内科) + キラキラスタッフ



伊藤先生 + 乾恵美先生(西陣病院) + 世話人



中締め 三宅健文先生
(西陣病院薬剤部長/常任世話人)

開催後記

2017年11月吉日

過日は、第2回京都腎臓・高血圧談話会にご出席頂き、誠にありがとうございました。102名と昨年に引き続き、大変多くのご参加を頂き、この領域の関心の高さを再認識しました。

伊藤先生のご講演は本当に分かりやすく、かつアカデミックな内容をかみ砕いて教えて頂き、大変勉強になったとの声が多く寄せられました。

また聴衆参加型ディスカッションとして「降圧治療の課題」について保健師、栄養士、薬剤師の立場から、もやもやして患者指導に困る点、指導に当たって大切にしていること、薬剤使用の注意点などの有益な情報を教えて頂きました。

生活習慣病の要素が強い、腎臓、高血圧疾患は、医師のみの指導ではとても手が回りませんし、不十分です。それぞれの技能を活かしてチームとして立ち向かう必要があります。お互いの実力を認め合って高めていける会にしていきたいと思っています。学術講演会以外にでも職種別勉強企画など、ご要望があれば事務局までご意見をお寄せください。

来年は、糖尿病性腎臓病(DKD)をテーマに開催予定です。詳細が決まり次第、MLを通じてご連絡します。多数の皆様にお会いできる日を楽しみにしています。ご意見、ご要望がございましたら、事務局 八田 告(tsuguhatta@hotmail.com)までお寄せ頂ければ幸いです。

京都腎臓・高血圧談話会 会長 武田和夫
事務局 八田 告